

事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立静岡商業高等学校

静岡市葵区田町七丁目 90 番地

電 話 054-255-6241

F A X 054-255-9241

目 次

1	事務事業の概要 (□□□□□□)	1
2	事務執行の根拠法令調 (□□□□□□□□)	13
3	学校施設の概要 (□□□□□□)	14
4	在籍生徒調 (□□□□□□)	15
5	入学志願者及び入学者数調 (□□□□□□)	16
6	卒業生の動向調 (□□□□□□)	17
7	生徒の状況 (□□□□□□)	18
8	授業料収納状況調 (□□□□□□)	19
9	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調 (□□□□□□□□)	21
10	預金調 (□□□□□□□□)	21
11	委託料等歳出予算執行状況節別集計表 (□□□□□□□□、□□□□□□)	22
12	委託料に関する調 (□□□□□□)	24
13	負担金支出調 (□□□□□□)	28
14	建築工事調 (□□□□□□)	30
15	公有財産調 (□□□□□□)	32
16	借地借家等調 (□□□□□□)	33
17	行政財産貸付・使用許可調 (□□□□□□)	34
18	主要備品調 (□□□□□□□□)	36
19	職員調 (□□□□□□)	37
20	職員の年齢調 (□□□□□□□□)	39
21	健康管理 (□□□□□□□□)	40

事務事業の概要

1 概況

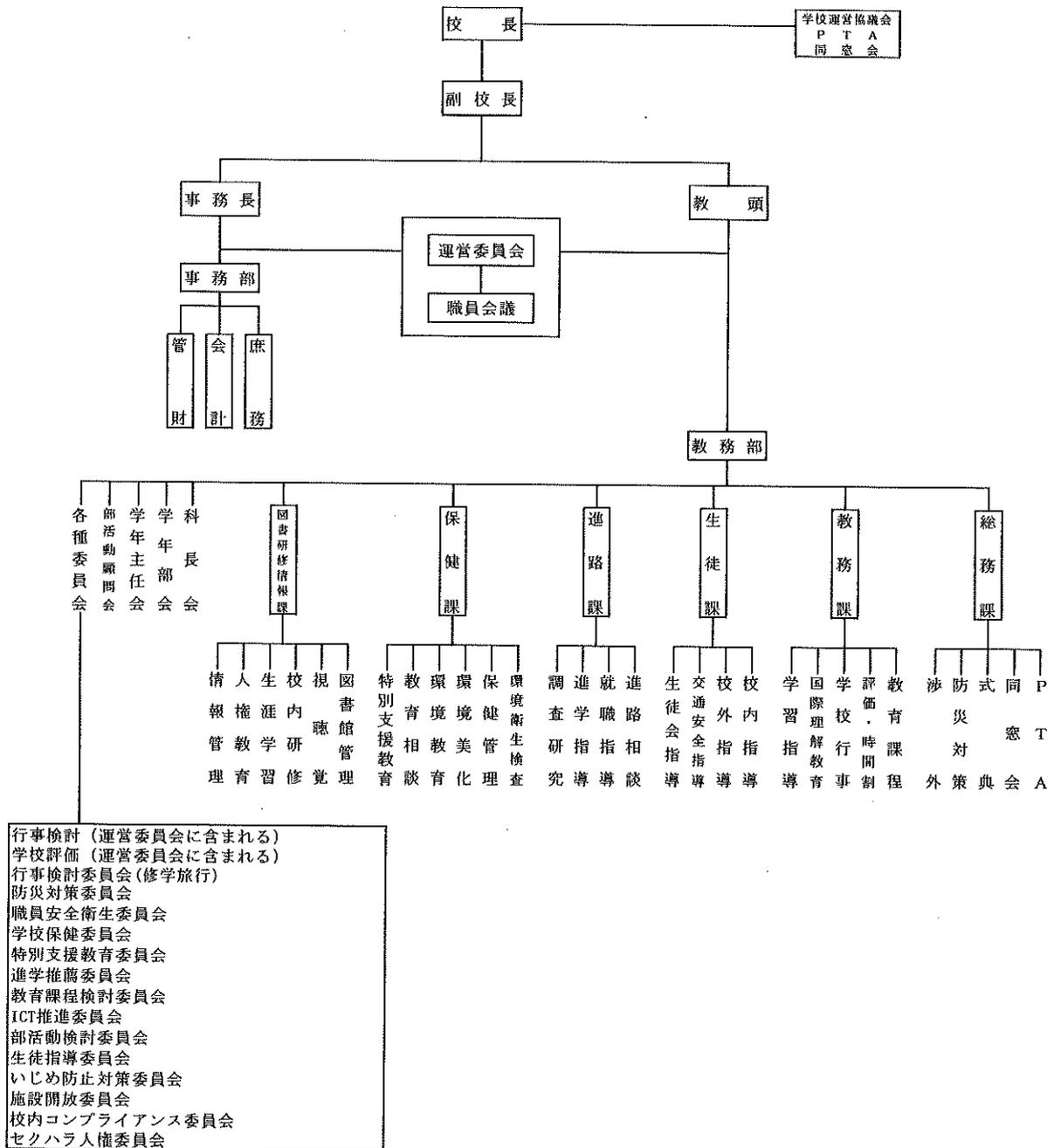
(1) 学校の沿革

- 明治31年11月 静岡県静岡市立静岡商業学校（予科1年、本科3年、生徒定員220名）として設立を許可される。
- 〃 32年4月 静岡市本通3丁目英語専門学校の建物を仮校舎として4月17日開校式挙行
 - 〃 33年4月 静岡市追手町82（城内）に新築移転する。予科を2年に延長し、付属簡易商業科（2年制、生徒定員100名）設置
 - 〃 37年3月 本科生徒定員350名
 - 〃 38年3月 付属簡易商業科を3年制とし、生徒定員を200名とする。
 - 〃 41年3月 付属簡易商業科を付属実践商業科と改称し2年制とする。1年制の専修科を設置し、本科生徒定員を400名とする。同年校旗制定
- 大正3年4月 校歌制定
- 〃 5年4月 本科生徒定員450名、付属実践商業科定員250名
 - 〃 7年4月 本科生徒定員500名、付属実践商業科定員300名
 - 〃 8年10月 静岡県静岡商業学校と改称
 - 〃 9年4月 本科生徒定員750名
 - 〃 11年4月 静岡県に移管、静岡県立静岡商業学校と改称、生徒定員850名、付属実践商業科は静岡市に移し、静岡実践商業学校（3年制）と称する。
- 昭和2年4月 静岡実践商業学校を静岡市立駿府商業学校と改称、第1種（5年制）、第2種（3年制）を設置
- 〃 9年3月 組織変更、第1種（3年制）生徒定員300名、第2種（5年制）生徒定員1,000名の両種を併置、静岡市立駿府商業学校を合併
 - 〃 10年9月 現在地に新築移転
 - 〃 17年3月 種別並びに従来の第1種の課程は昭和19年3月をもって廃止、生徒定員1,200名とする。
静岡県立静岡第二商業学校（夜間）を設置
 - 〃 18年3月 文部省令第4号実践学校規定により、修業年限4年、生徒定員1,000名
 - 〃 19年3月 静岡第二商業学校募集停止
 - 〃 20年6月 戦災により校舎焼失
 - 〃 21年4月 修業年限5年、生徒定員1,200名
 - 〃 22年4月 新制中学校制度により併設中学校設置、在校2・3年生を収容
静岡第二商業学校募集再開
 - 〃 23年2月 第1次復興計画による第2校舎（木造2階建2,380㎡）、第2次復興計画による便所渡り廊下が竣工
 - 〃 23年4月 静岡県立静岡商業高等学校と改称、生徒定員750名
静岡県立静岡第二商業学校を本校定時制（夜間）課程に改編、生徒定員320名
 - 〃 23年5月 創立50周年、校舎復興記念祭挙行

- 昭和23年11月 第3次復興計画の第3校舎（木造平屋建1,120㎡）竣工
- 〃 24年4月 高等学校通学学区制定、男女共学開始、女子15名入学
- 〃 26年4月 全日制課の程生徒定員1,050名
- 〃 27年3月 第1次復興計画による本館（正面、鉄筋2階建1,104㎡）竣工
- 〃 28年4月 第2次復興計画による本館（東側、鉄筋2階建942㎡）竣工
- 〃 29年2月 第3次復興計画による本館（西側、鉄筋2階建662㎡）竣工、本館完成（2,708㎡）
- 〃 32年4月 定時制の課程生徒定員480名
- 〃 32年9月 体育館拡張並びに改修工事完了
- 〃 35年7月 第2校舎改築第1期工事（鉄筋3階建1,835㎡）竣工
- 〃 36年3月 第2校舎改築第2期工事（鉄筋3階建1,883㎡）竣工、第2校舎完成（3,702㎡）
- 〃 36年5月 本館、第2校舎間中央廊下新設工事（132㎡）竣工
- 〃 36年10月 創立62周年、校舎改築完成記念祭挙行
- 〃 37年4月 全日制の課程第1学年生徒定員400名
- 〃 38年4月 全日制の課程第1学年生徒定員500名
- 〃 39年4月 全日制の課程第1学年生徒定員450名
- 〃 41年4月 全日制の課程第1学年生徒定員400名
- 〃 43年4月 小学科設置、全日制の課程第1学年生徒定員384名（事務科96名、商業科288名）
- 〃 44年4月 全日制の課程第1学年生徒定員376名（事務科94名、商業科282名）
- 〃 44年5月 体育館兼講堂、格技場建築工事（鉄骨鉄筋2階建3,156㎡）竣工
- 〃 44年10月 創立70周年記念式典挙行
- 〃 45年3月 本館3階増築工事（鉄骨1,352㎡）、温水プール建築工事（鉄骨832㎡）竣工
- 〃 45年4月 商業科募集停止、情報処理科・営業科・経理科新設
 全日制の課程第1学年生徒定員368名
 （事務科92名、情報処理科92名、営業科92名経理科92名）
- 〃 46年4月 全日制の課程第1学年生徒定員360名
 （事務科90名、情報処理科90名、営業科90名経理科90名）
- 〃 54年4月 定時制の課程第1学年定員80名
- 〃 56年3月 南館建築工事（鉄筋3階建1,345㎡）竣工
- 〃 57年4月 定時制の課程第1学年定員40名
- 〃 58年4月 定時制の課程第1学年定員80名
- 〃 60年3月 推薦入学者選抜実施、第2校舎改修工事完了
- 〃 62年3月 本館建築工事（鉄筋5階建4,502㎡）、南館増築工事（鉄筋3階建881㎡）及び
 自転車置場建築工事（鉄骨2階建1,401㎡）竣工
 外構工事及びテニスコート改修工事完了
- 〃 62年4月 事務科募集停止、会計科新設
 全日制の課程第1学年生徒定員405名
 （情報処理科135名、営業科90名、経理科90名、会計科90名）
- 〃 62年9月 第2体育館全面改修及び正門・前庭工事完了
- 〃 63年10月 創立90周年記念式典、校舎落成記念式典挙行

- 平成3年4月 経理科・営業科募集停止、流通経済科・国際経済科新設
 全日制の課程第1学年生徒定員360名
 (流通経済科90名、会計科90名、情報処理科135名、国際経済科45名)
- 〃 4年3月 部室建築工事(鉄骨、2階建129㎡、平屋建155㎡)竣工
- 〃 5年4月 全日制の課程第1学年生徒定員344名
 (流通経済科86名、会計科86名、情報処理科129名、国際経済科43名)
 定時制の課程第1学年生徒定員40名
- 〃 6年4月 全日制の課程第1学年生徒定員336名
 (流通経済科84名、会計科84名、情報処理科126名、国際経済科42名)
- 〃 7年4月 全日制の課程第1学年生徒定員328名
 (流通経済科82名、会計科82名、情報処理科123名、国際経済科41名)
 「学校間連携・専修学校連携・技能審査による単位認定」に関する文部省研究
 指定校
- 〃 8年4月 全日制の課程第1学年生徒定員320名
 (流通経済科80名、会計科80名、情報処理科120名、国際経済科40名)
- 〃 9年4月 定時制の課程募集停止
- 〃 10年10月 創立100周年記念式典挙行
- 〃 11年12月 北館建築工事(鉄筋4階建4,129㎡)竣工
- 〃 12年3月 定時制の課程廃止
 グラウンド改修工事及び前庭復元工事完了
- 〃 12年4月 全日制の課程第1学年生徒定員280名
 (流通経済科80名、会計科40名、情報処理科120名、国際経済科40名)
- 〃 12年5月 校舎完成記念式典挙行
- 〃 17年4月 全日制の課程第1学年生徒定員240名
 (流通経済科80名、会計科40名、情報処理科80名、国際経済科40名)
- 〃 21年4月 流通経済科・会計科・国際経済科募集停止、商業科新設
 全日制の課程第1学年生徒定員240名(情報処理科80名、商業科160名)
- 〃 24年3月 第2体育館解体
- 〃 24年12月 多目的室設置工事(軽量鉄骨149㎡)竣工
- 〃 25年4月 全日制の課程第1学年生徒定員280名(情報処理科80名、商業科200名)
- 令和3年4月 全日制の課程第1学年生徒定員240名(情報処理科80名、商業科160名)
- 〃 7年4月 全日制の課程第1学年生徒定員200名(情報処理科40名、商業科160名)

(2) 組織図 (校務分掌表)



2 目指す学校像

(1) スクールミッション

校訓「剛健進取」のもと、120年を超える歴史と伝統を誇る静岡県を代表とする商業高校として、産・学・官との連携による「課題研究」等の実学教育と課題解決型学習等の活動を通じて、地域を担うビジネスリーダーや知徳体のバランスのとれた社会性に優れた有為な人材の育成を目指す。

(2) 目指す学校像

- I ビジネスに関するマナーや技能・実践力を身に付け、社会人基礎力を育成する学校。
- II 学ぶこと働くことを尊び、高い志を持って生涯学び続ける姿勢を育成する自主性に満ちた学校。
- III キャリア教育を通して進路目標に向けて実力を高め、多様な進路希望を実現する学校。
- IV 行事や部活動等を通して、豊かな人間性や健やかな心身を育成し、活力にあふれる学校。
- V 地域社会との連携を深め、地域に学び、地域貢献に寄与して地域社会から信頼される学校。

(3) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 社会人基礎力育成のため、ビジネスマナー、倫理観、規範意識、情報モラル等、社会性に優れた生徒の育成
- イ 生徒の基礎学力の定着とICTを活用した主体的な学習活動推進、探究的な学びの教育の充実
- ウ 個に応じたきめ細やかな進路指導と適切な進路の実現
- エ 生徒が充実した学校生活を送るため、行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実
- オ 外部（企業、自治体、学校、地域）との連携を深め、開かれた学校づくりの推進、広報活動の充実
- カ 生徒の心身の健康、教育相談、交通安全、防災、人権教育の充実
- キ 教育環境の整備、業務の精選と効率化、教職員の心理的安全性の確保

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本的生活習慣の確立 ・ ビジネスマナー及び社会 ・ 人基礎力の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ①遅刻を昨年度より減らす 朝指導・朝学習の実施 ②ネット依存対策講座の実施 ③交通安全教室の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒課、学年、教務課が連携して朝指導を行っている。 ②③講座等は実施できた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ①遅刻・欠席は減少してきているがコロナ以前の状態には戻っていない。 ②③ネットリテラシーや交通マナーなどには課題が残っている。
イ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開かれた教育課程の実践 ・ ICT教育活用による新たな学びの展開・個別最適な学び・協働的な学びによる指導と評価の一体化への取組実現 ・ 探究的な学びによる授業改善の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ①教育課程検討委員会の開催 シラバスのデジタル化 ②家庭学習課題の工夫 ③ICT教育の充実・発展 BYODの有効活用 公開授業週間の実施 ④各教科の観点別評価検証、活用 教科内・教科横断的な対応 	<ul style="list-style-type: none"> ①②シラバスのPDF化を進めている。 ③個人端末の利用は増えている。採点システムの導入を進めている。 ④観点別評価は浸透してきた。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ①②授業・家庭学習への個人端末の利用を考えている ③ネットワークの整備、セキュリティ対策が課題である。 ④観点別評価は浸透してきたが評価の難しさを感じることも多い。

ウ	キャリア教育の視点による多様な進路希望の実現	①進路決定率 就職・進学とも100% 3年間を見据えた進路マップ ②手帳及び個人端末の活用 基礎力診断テスト等の分析	①希望する職種、学部、学科で進路先を決定できた。 222/225 ②手帳活用は十分できた。	B	①ミスマッチのない進路指導を行っていきたい。 ②基礎力診断テストの振り返りに時間をかけたかった。
エ	行事や部活動の活性化活躍するリーダーの育成	①生徒（生徒会や委員会）主体の学校行事の企画・立案・運営 ②県大会出場以上の目標実現 競技会等への積極的参加	①生徒会が率先して動き、校則の見直しなどの議論ができた。 ②多くの部活動で優秀な成績を収めることができた。	A	①②更なる活性化を目指したい。
オ	地域連携事業の推進 魅力ある学校づくり推進 広報活動の発展、充実 PTA活動の合理化	①商品開発や販売実習の積極的実施、実学教育の推進 ②学校・家庭・地域等連携による「行きたい学校づくり」の推進 ③体験入学・オープンスクールの内容改善、個別相談の実施 ④実効性のあるPTA行事実施 ⑤HP更新 1週間に1回以上	①②課題研究は地域と連携して商品開発や販売、イベントの企画運営を行った。 図書班は田町小学校の読み聞かせを行った ③体験入学・オープンスクールについて学校の魅力発信の企画を見直した ④オープンスクールの受付や文化祭の巡視など学校行事の支援を行った。 ⑤HPに加え、今年からインスタでの配信を始めた。	B	①②課題研究の連携先は個人の繋がりが多い。データベース化して継続性のある形にしたい。 ③④定期的に企画の見直しが必要である。 ⑤配信回数の確保、特定の人の負担にならない工夫が必要である。
カ	校務のDX化等による学校組織の見直し・改善 教職員の健康管理の増進 法令順守及び不祥事根絶	①各分掌業務の精選 ②適切な年間指導計画の作成 ③部活動検討委員会の開催 ④ストレスチェック等で課題を抱える教職員ゼロ ⑤定期的なコンプライアンス研修の実施 不祥事ゼロ	①②③について見直しや検討は行っているが道半ばである。 ④⑤は達成することができた。	B	①②③について分掌や部活動の見直しは急務である。 ④⑤は引き続き油断せずに力を入れていく。

キ	生徒の自己健康管理 特別な配慮を要する生徒への対応・教育相談機能の充実 防災教育・防災訓練の充実 ギガスクール構想対応	①保健だよりの発行 粟学講座・健康講座年各1回 ②支援（ケース）会議の実施、SCやSSW等専門家との連携による支援指導 ③いじめアンケート 年2回 学校生活アンケート 年3回 ④防災訓練 年3回 ⑤一人一台端末の有効活用	①は予定通り進めることができた ②必要に応じて実施し、外部専門家の助言を受けながら生徒対応ができた ③は予定通り進めることができた。特に問題はなかった。 ④は状況にあった形で実施した。 ⑤個人端末の利用は増えている。	A	①来年度も継続していく。 ②支援が必要な生徒は増加傾向にある。 ③特に問題はなかったが早期発見が大切である。 ④は地域防災を考えていく必要がある。 ⑤ネットワークの整備、セキュリティ対策をすすめたい。
ク	予算の適正な執行 教育環境の整備・充実 正確・迅速な事務・会計処理の実施	①効果的な予算執行、教育活動への経費確保（執行残0.5%以下） ②施設設備安全点検 学期1回 ③起案、決裁等による保管徹底 ④校内外への会計報告書 適宜 検定代金や部活動徴収金報告	①計画的、効果的に執行できた。 ②計画通りに実施した。 ③計画通りに実施した。 ④計画通りに実施した。	A	①学校経営予算の執行残については引続き最小限に努めたい。 ②③については計画通り進めている。 ④については学校徴収金等事務処理基準に基づき適正な会計処理を引続き行いたい。

(2) 令和7年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	社会人基礎力育成のため、ビジネスマナー、倫理観、規範意識、情報モラル等、社会性に優れた生徒の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・教員、生徒共に挨拶の習慣化 ・校内美化意識の醸成 ・基本的な生活習慣の指導徹底 ・授業や集会において情報モラル教育を重視 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に挨拶が習慣化されていると感じる生徒80%以上 ・清掃活動にしっかり取り組んでいる生徒80%以上 ・健康面で自己管理し、欠席・遅刻・早退をしないよう意識して学校生活を送れている生徒90%以上 ・情報モラルを理解して、スマートフォン等の情報機器を使用している生徒80%以上 	全教職員 生徒課 保健課 図研情課 各教科 各学年
イ	生徒の基礎学力の定着とICTを活用した主体的な学習活動推進、探究的な学びの教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習等、授業以外での学習習慣の確立 ・授業改善やICT活用研修、授業見学週間の実施 ・主体的、対話的で深い学びを実現する探究型授業実践の推進 ・観点別学習評価の授業改善への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や家庭学習等、授業以外の学習時間を有効活用している生徒80%以上 ・先生はICT機器を効果的に活用して授業を行っていると感じる生徒80%以上 ・授業において、ICT機器を効果的に使うことを意識している教員80%以上 ・授業を通して、学力が伸びたと感 	教務課 図研情課 各教科 各学年

			<ul style="list-style-type: none"> じる生徒 90%以上 ・生徒が主体的に取り組み、学びが深まる授業を実践している教員 80%以上 	
ウ	個に応じたきめ細かな進路指導と適切な進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次からの系統的なキャリア教育の推進 ・生徒の進路希望に応じた個別指導の充実 ・生徒自ら進路情報を収集し、進路選択できる指導の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒の進路実現に向けて、きめ細かな進路指導を行っていると感じる生徒、保護者 80%以上 ・キャリア教育において、効果的に外部との連携が図れたと感じる教員 80%以上 	進路課 各学年
エ	生徒が充実した学校生活を送るため、行事や部活動、生徒会等の教育活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・各行事毎にPDCAの手順に則った業務推進 ・部活動毎に目標の設定、外部指導者と連携した運営 ・生徒主体による生徒会、各委員会活動の運営 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事が充実していたと感じる生徒 80%以上 ・部活動が充実し、前向きに活動出来ている生徒 80%以上 ・生徒会、各委員会活動が、生徒主体で行われていると感じる生徒 80%以上 	生徒課 部活動 全教員
オ	外部（企業、自治体、学校、地域）との連携を深め、開かれた学校づくりの推進、広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・授業、行事、部活動等において、外部と連携した教育活動の推進 ・学校運営協議会制度を活用した開かれた学校運営 ・PTA活動の工夫改善 ・中学生向けの広報を工夫改善し、学校の魅力を発信する ・学校HPやSNSを活用した情報発信の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業、自治体、大学、専門学校、地域との連携活動を通して学びが深まったと感じる生徒 80%以上 ・PTA活動が、今の時代に合った内容だと感じる保護者 70%以上 ・体験入学等の中学生向けイベントのアンケートにおいて、参加して良かったと答える回答を 100%に近づける 	全教職員 総務課 教務課 進路課 図研情課 各教科 各学年
カ	生徒の心身の健康、教育相談、交通安全、防災、人権教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校医やスクールカウンセラー等の外部支援員と連携した指導、支援の充実 ・交通安全講話や生徒の委員会活動を通じた啓発活動の実施 ・実態に合った緊急時マニュアルの作成と効果的な防災訓練の実施 ・生活アンケートの実施 ・人権意識や思いやりの心を育む教育の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校は生徒が安心して学校生活を送るため、様々な支援をしていると感じる生徒 80%以上 ・登下校時に交通ルールを守っている生徒 80%以上 ・学校は防災訓練等を効果的に実施していると感じる生徒 80%以上 ・人権を意識し、思いやりの心を持って他者と接するようにしている生徒 80%以上 	全教職員 生徒課 保健課 総務課 図研情課
キ	教育環境の整備、業務の精選と効率化、教職員の心理的安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全を踏まえた学校施設、設備の点検、修繕、保全 ・各分掌、学年、教科等の年間を見通した業務の精選と効率化を図る ・教職員間の風通しを良くするため、挨拶の励行とコミュニケーションの活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の不備による事故発生 0件 ・自分が関わる業務において、精選と効率化が図れたと感じる教職員 80%以上 ・生徒と向き合う時間が確保されていると感じる教員 80%以上 ・職場の風通しが良く、心理的安全性が確保されていると感じる教職員 80%以上 	事務 全教職員

4 監査対象期間における特色ある取組

年度	取組概要	成果及び課題
令和	<ul style="list-style-type: none"> ・田町幼稚園・田町小学校との連携活動 (1)本校生徒による読み聞かせボランティア活動 (2)美術部員による放課後児童クラブにおけるボランティア活動 (3)スポーツ教室 (4)田町エリアミーティング 	<p>【成果】地域の活動に参画することで、生徒の成長が見られた。田町エリアミーティングなどでは高い評価を得ている。</p>

6 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・商店街での商業学習 (1) 駒形通り商店街、静岡信用金庫との交流 (2) おまちdeハロウィン（課題研究等による活動） (3) 販売実習 	【成果】例年の活動であるが、地域で活躍している専門家から指導を受けることができた。地域の活性化に貢献することもできた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業とのコラボイベント (1) 清水エスパルスとコラボしての商品開発・販売 (2) 開催試合前の応援イベント（チアリーディング部）、子供体操教室（課題研究）など 	【成果】前年度に続き、エスパルスとのコラボイベントを企画した。生徒は地域貢献を学びながら、自ら考えて、貢献活動に協力できた。くふうハヤテやベルテックス静岡とのコラボも考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動 例年、静岡まつり・廿日会祭（静岡浅間神社）・静岡ホビーショー・西部ふれあいコンサート（静岡市西部生涯学習センター）などに音楽部やチアリーディング部などが参加している。 	【成果】地域の人に喜んでもらえるような活動ができた。

年度	取組概要	成果及び課題
令和 7 年 度	<ul style="list-style-type: none"> ・田町幼稚園・田町小学校との連携活動 (1) 本校生徒による読み聞かせボランティア活動 (2) 美術部員による放課後児童クラブにおけるボランティア活動 (3) スポーツ教室 (4) 田町エリアミーティング 	【成果】地域の活動に参画することで、生徒の成長が見られた。田町エリアミーティングなどでは高い評価を得ている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・商店との商業学習 (1) 地元企業主催のイベント参加（アウア・夜店市） (2) 地元商店との商品開発 (3) 販売実習 	【成果】地元の名産品を活かした商品開発の取り組み、生徒のアイデアが商品化できるかを原価計算を含めての助言を頂いている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業とのコラボイベント (1) プロスポーツとコラボしたフェスの開催 (2) 昨年に続き保護猫、保護犬の譲渡会を行った。 	【成果】前年度を参考にしてプロスポーツとのコラボイベントを企画した。また、キッチンカーを呼び地元でフェスを開催して地域活性化に貢献するよう努めた。保護犬保護猫譲渡会を実施した。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア活動 例年、静岡まつり・廿日会祭（静岡浅間神社）・静岡ホビーショー・西部ふれあいコンサート（静岡市西部生涯学習センター）などに音楽部やチアリーディング部などが参加している。 	【成果】地域の人に喜んでもらえるような活動ができた。

5 教職員について

(1) 異動状況

令和7年8月31日現在 (単位：人)

	本務職員													臨時職員					合計			
	教育職員						行政職員							教諭 (臨時)	会計年度任用職員							
	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主任幹事	主任査査	主任任任	技師長	主任技師		小計	本務計	外国語指導講師	非常勤講師		非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員
転出者				4		4			1				1	5						0	5	
退職者		1		8		9	1	1				1	3	12			1		4	5	17	
転入者		1		7		8	1			1			2	10						0	10	
新任者						0				1			1	1			1	1	3	5	6	
差引増減	0	0	0	▲5	0	▲5	0	▲1	▲1	2	0	▲1	▲1	▲6	0	0	0	0	1	▲1	0	▲6

(2) 現員数

令和7年8月31日現在 (単位：人)

本務職員													臨時職員					合計
教育職員						行政職員							会計年度任用職員					
校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任実習助手	小計	事務長	主任任	小計	本務計	外国語指導講師	非常勤講師	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	部活動指導員	合計		
																	1	1

(3) 健康管理について

ア 教職員に生活習慣病検診、人間ドック等の健診を積極的に促し、疾病の早期発見に心掛けるとともに、検査結果の事後措置（再検査の実施、受診）を徹底させ早期治療に努めている。医療を必要とする職員へは、定期的に主治医に受診するよう指導するとともに過重な勤務とならないように配慮している。

イ ワークライフバランスの観点から、定時退勤日を特に定めてはいないが、メリハリのある生活ができるよう教職員に啓発している。また、長期休業中には休暇促進日を設けている。

ウ 毎年専門家を講師に招き職員健康講座を開催して教職員の健康づくりに努めている。令和6年度は3学期に開催した。令和7年度も3学期に予定している。

エ 職員安全衛生委員会では、月に1回程度、問題点の考察及び改善案の提示と評価を行っている。令和6年度は、校内美化に取り組むとともに教職員アンケートを活用して働きやすい環境を考えた。令和7年度も、令和6年度と同様に実施予定である。

(4) 教職員の研修について

ア 研修目的

- (7) 各種の情報や資料の収集及び提供を迅速に行い、教職員の資質向上に努める。
- (イ) 各教科や分掌との連携を密にし、研修の参加者が十分に確保できるよう配慮する。また研修参加者による全職員への報告を進める。
- (ウ) 学校自己目標の理解を深め、目標達成のための推進に努める。

イ 校内研修の内容

	実施日時	研修内容
令和6年度	5月21日(火)	「AEDを使用した心肺蘇生法」「アナフィラキシーショックに対応したエピペンの使用法」の研修会を実施。
	11月11日(月)	定期訪問に合わせて「効果的なICT活用による授業改善」をテーマに研修会を実施。
令和7年度	5月21日(水)	「AEDを使用した心肺蘇生法」「アナフィラキシーショックに対応したエピペンの使用法」の研修会を実施。
	10月16日(木)	定期訪問に合わせて「効果的なICT活用による授業改善」をテーマに研修会を実施予定。

* 上記の他、「教職員の不祥事根絶への取組」に関する研修を職員会議開催時に毎回実施。

ウ 成果及び課題

- (7) 研修の一環として保護者及び生徒を対象に、「学校教育診断」を実施している。この結果は、保護者や生徒の学校に対する考えを知る良い機会であるとともに、課題を再確認するものとなっており、指導に生かしている。
- (イ) 校外で開催される各種研修会について、一人一台パソコンの掲示板に掲載したり、印刷物を掲示したりするなどして教員に周知している。今後も積極的に広報し、資質向上への参加意識を高めていく。
- (ウ) 研修会に参加しやすい環境をつくることを大切であると考えている。

6 防災対策について

(1) 目標

- ア 危機管理マニュアルの点検・整備を行う。また、地震・津波などの自然災害を中心に危機管理体制の総合的な点検・整備を行う。
- イ 防災・避難訓練を年3回行い、生徒の危機管理意識の高揚を図る。
- ウ 生徒の地域防災訓練への参加を推進する。

(2) 防災訓練実施状況

	実施時期	目的	訓練内容
令	4月9日(火)	(避難経路・地区別集合場所の確認) ・日頃より地震に備え、防災意識を高揚する。 ・避難経路の確認をする。 ・地区別集合を実施することにより、地域防災の仕組みを理解させる。	・避難経路の確認(クラス単位) ・地区別集合場所へ移動 ・地区別集会の実施、責任者の決定

和 6 年 度	8月28日(水)	・能登半島地震や東日本大震災から得た多くの教訓を基に、突発的な地震に対し、速やかな行動がとれるよう防災意識を高め、地震対策の充実を図るため、校内自主防災の計画に基づき避難訓練を実施する。	・避難経路の確認(クラス単位) ・防災関連動画の視聴
	12月19日(木)	(避難経路・地区別集合場所の確認) ・日頃より地震に備え、防災意識を高揚する。 ・避難経路の確認をする。 ・地区別集合を実施することにより、地域防災の仕組みを理解させる。	・避難経路の確認(避難場所への移動) ・地区別集合場所に移動 ・地区別集会の実施
令 和 7 年 度	4月10日(木)	(避難経路・地区別集合場所の確認) ・日頃より地震に備え、防災意識を高揚する。 ・避難経路の確認をする。 ・地区別集合を実施することにより、地域防災の仕組みを理解させる。	・避難経路の確認(クラス単位) ・地区別集合場所に移動 ・地区別集会の実施、責任者の決定
	12月18日(木)	・災害時に避難所運営の現実的な課題を体感し、チームワークや判断力、即応力を養う。避難生活の困難さや普段からの備えの重要性を実感し、災害時の「自分たちで地域を支え合う」意識を高める。	・HUG訓練の実施
	2月4日(水) 【予定】	・能登半島地震や東日本大震災から得た多くの教訓を基に、突発的な地震に対し、速やかな行動がとれるよう防災意識を高め、地震対策の充実を図る。(自衛隊による防災講話を計画している)	・被災地支援活動に関する講話 ・災害時の応急処置等体験

(3) 課題

- ア 災害に対し、現実的に捉え危機感を持つことができない生徒に対して危機意識の高揚を図る必要がある。
- イ 生徒がより自分事と捉えられる訓練の実施を検討したい。
- ウ 地域防災に対する意識をより高め、生徒が地域防災に参加しやすい環境を整えたい。

7 学校開放について

静岡県立静岡商業高等学校の施設等の開放に関する実施細則に基づき、地域住民の生涯活動の振興のため、施設開放を実施している。

(1) 令和6年度

施設名	利用日数	利用者数	利用者負担金	主な利用目的
図書室	0日	0人	電気料 0円	
合宿所	0日	0人	電気料 0円	
計		0人	0円	

(2) 令和7年度

(令和7年8月31日現在)

施設名	利用日数	利用者数	利用者負担金	主な利用目的
図書室	0日	0人	電気料 0円	
合宿所	0日	0人	電気料 0円	
計		0人	0円	

事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第50条、第51条、第52条、第56条、 第57条、第59条、第60条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条、第6条、第13条、第14条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立高等学校学則 高等学校学習指導要領 理科教育振興法（第11条） 理科教育振興法施行令 産業教育振興法（第18条） 産業教育振興法施行令
2 学校の管理・運営に関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） いじめ防止対策推進法 学校保健安全法（第6条、第7条、第13条、第15条、第19条、第23条、 第27条） 静岡県教育委員会職員安全衛生管理規程 社会教育法（第43条、第44条、第45条、第47条） 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県教育委員会処務規程 高等学校等就学支援金の支給に関する法律 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行令 高等学校等就学支援金の支給に関する法律施行規則 高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県公立高等学校等就学支援金事務処理要領 静岡県高等学校等奨学給付金事務処理要領 静岡県立学校の授業料等の徴収に関する条例 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県手数料徴収条例 静岡県手数料徴収条例施行規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱 静岡県情報公開条例施行規則 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律 個人情報の保護に関する法律 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律 補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律施行令 学校保健特別対策事業費補助金交付要綱

□□□□ □

学校施設の概要

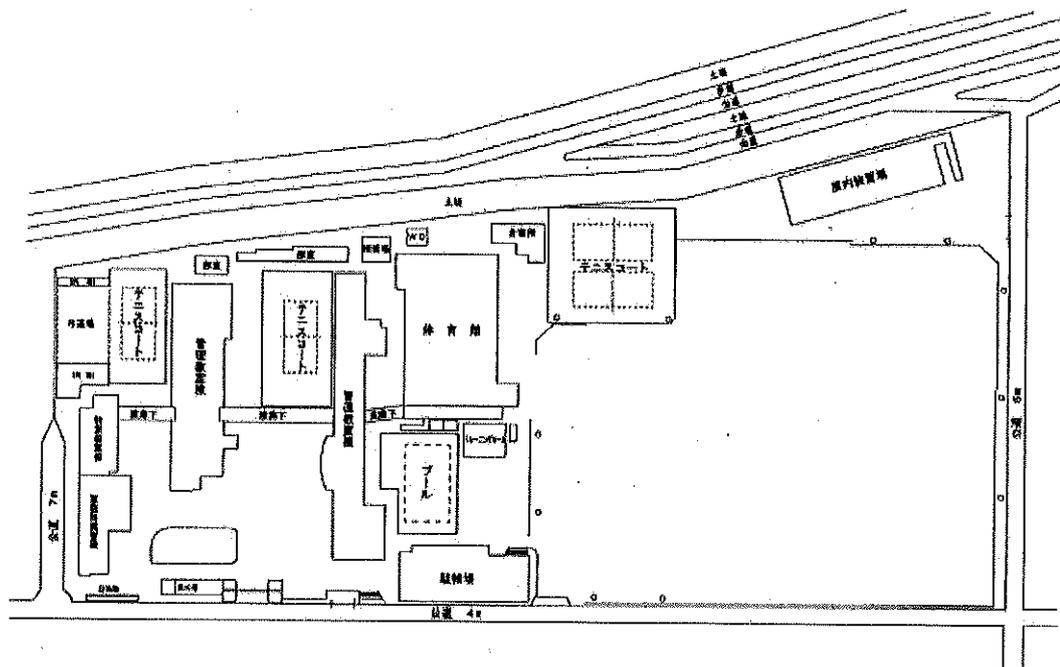
1 面積及び所有区分

(令和7年8月31日現在)

区 分	面 積	所 有 内 訳					摘 要
		県 有	国 有	市町村有	P T A 有	民 有	
学 校 敷 地	m ² 39,085.19	m ² 39,085.19	m ²	m ²	m ²	m ²	
内 訳	校 舎 敷 地	16,630.21	16,630.21				
	運 動 場 敷 地	22,454.98	22,454.98				
校 舎	建 3,743.93	3,743.93					
	延 10,964.15	10,964.15					
体 育 館	建 1,604.00	1,604.00					体育館の1階 は武道場
	延 3,156.00	3,156.00					
そ の 他 の 建 物	建 3,118.49	2,260.75			857.74		
	延 3,959.91	3,102.17			857.74		
生 活 館	建 158.87	158.87					合宿所
	延 261.51	261.51					
プ ー ル	740.28	740.28					25m×7コース

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区 分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	39,085.19 m ²	10,964.15 m ²	22,454.98 m ²
県平均	45,574.48 m ²	9,782.41 m ²	22,506.84 m ²

□□□□□ □

在 籍 生 徒 調

(令和7年8月31日現在)

学年	学科別 区 分		商 業 科				情 報 処 理 科				(合 計)			
			定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1 年	入学者		160	82	86	168	40	33	9	42	200	115	95	210
	増 加													
	減 少				1	1							1	1
	現 在			82	85	167		33	9	42		115	94	209
2 年	入学者		160	62	90	152	80	37	22	59	240	99	112	211
	増 加													
	減 少				2	2			2	2			4	4
	2年時当初			62	88	150		37	20	57		99	108	207
	増 加 減 少													
	現 在			62	88	150		37	20	57		99	108	207
3 年	入学者		160	62	102	164	80	48	34	82	240	110	136	246
	増 加													
	減 少													
	2年時当初			62	102	164		48	34	82		110	136	246
	増 加 減 少													
	3年時当初			61	101	162		47	34	81		108	135	243
	増 加 減 少													
	現 在			61	101	162		47	34	81		108	135	243
合 計			480	205	274	479	200	117	63	180	680	322	337	659

入学志願者及び入学者数調

区 分		3年度		4年度		5年度		6年度		7年度	
学 科 別		商業	情報 処理	商業	情報 処理	商業	情報 処理	商業	情報 処理	商業	情報 処理
生徒定員 (A)		160	80	160	80	160	80	160	80	160	40
募集者数 (B)		160	80	160	80	160	80	160	80	160	40
志願者数	男	58 (1)	31	61	40 (3)	65	48	62	38	90	34
	女	92	24	104	22	105	37	90	22	92	7
	計(C)	150 (1)	55	165	62 (3)	170	85	152	60	182	41
受検者数	男	58 (1)	31	61	40 (3)	65	48	62	38	89	34
	女	92	24	104	22	105	37	90	22	91	7
	計(D)	150 (1)	55	165	62 (3)	170	85	152	60	180	41
合格者数	男	58 (1)	31	59	42 (3)	62	48	62	37	82	33
	女	92	24	101	25	102	34	90	22	86	9
	計(E)	150 (1)	55	160	67 (3)	164	82	152	59	168	42
志願倍率 (C)/(B)		0.94	0.69	1.03	0.78	1.06	1.06	0.95	0.75	1.14	1.03
受検倍率 (D)/(B)		0.94	0.69	1.03	0.78	1.06	1.06	0.95	0.75	1.13	1.03
入学者数	男	59	31	59	45	62	48	62	37	82	33
	女	92	24	101	25	102	34	90	22	86	9
	計(F)	151	55	160	70	164	82	152	59	168	42
充足率 (F)/(A)		0.94	0.69	1.00	0.88	1.03	1.03	0.95	0.74	1.05	1.05

卒業生の動向調

(高等学校用)

1 進路状況

学 科 別		商業科			情報処理科			(計)		
年 度		4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度	4年度	5年度	6年度
卒業生徒数		194	146	158	78	53	67	272	199	225
(進学志願者)		(115)	(73)	(94)	(49)	(34)	(48)	(164)	(107)	(142)
内 学 者	大学・短大	62	35	48	31	12	26	93	47	74
	専修・各種学校等	52	37	46	17	22	22	69	59	68
	小 計	114	72	94	48	34	48	162	106	142
訳	就 職 者	78	73	64	29	18	19	107	91	83
	自 営 者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	進 学 準 備 者	0	1	0	1	0	0	1	1	0
	そ の 他	2	0	0	0	1	0	2	1	0
合 計		194	146	158	78	53	67	272	199	225

2 求人状況

区 分	4年度	5年度	6年度
就職希望者	107	92	83
求 人 数	629	637	621
求人倍率	5.9	6.9	7.5

3 資格取得状況

(令和6年度)

学 科 別		商業科	情報処理科	(計)	
]		158	67	225	
簿 記	全 商 1 級	52	30	82	
	全 経 上 級	0	0	0	
	全 経 1 級	4	0	4	
	日 商 1 級	0	0	0	
	日 商 2 級	23	2	25	
会計実務	全商会計実務 1 級	0	0	0	
英 語	全 商 1 級	8	1	9	
	実用英検 2 級	8	2	10	
商業経済	全 商 1 級	121	15	136	
情 報	経産省 応用情報	0	1	1	
	経産省 基本情報	0	11	11	
	ITパスポート	2	6	8	
	全商1級プログラミング	0	40	40	
	全商2級プログラミング	0	22	22	
	全商1級ビジネス	24	24	48	
	全商2級ビジネス	83	6	89	
電 珠 卓 算	全商1級	電 卓	49	10	59
		珠 算	0	0	0
	全経5段	電卓	0	0	0
	全経6段	電卓	0	0	0
ビジネス 文書部門	全 商 1 級	8	12	20	
	全 商 2 級	1	3	4	
販売士	日 商 3 級	0	0	0	
合 計		383	185	568	

□□□□ □

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地

(令和7年8月31日現在) (単位：人)

市 町 名	静岡市	焼津市	藤枝市	その他	合 計
生 徒 数	527	52	34	46	659
構成比%	80.0	7.9	5.1	7.0	100%

(2) 通学方法

(令和7年8月31日現在) (単位：人)

区 分	自転車	交通機関	徒 歩	自動車	合 計
生 徒 数	628	22	8	1	659
構成比%	95.3	3.3	1.2	0.2	100%

2 部（クラブ）の加入状況

(令和7年8月31日現在) (単位：人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数		15	11		26
男子	1 年	93	22	0	115
	2 年	75	24	0	99
	3 年	83	25	0	108
	計(A)	251	71	0	322
	構成比	78.0	22.0	0.0	100
女子	1 年	62	32	0	94
	2 年	60	48	0	108
	3 年	70	65	0	135
	計(B)	192	145	0	337
	構成比	57.0	43.0	0.0	100
合計	(A+B)	443	216	0	659
	構成比	67.2	32.8	0.0	100

□□□□ □

(全日制・定時制・通信制・単位制の全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和6年度)

期別	調 定 の 状 況										収 納 の 状 況			異動者等の状況	
	1 年		2 年		3 年		4 年		計		納期内収納額	納期後 収納額	収 入 未済額		
	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額	人員	調定額					収納率
4														A. 期首収納権利発額=2,613,600円 (88人×9,900円×3月) B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=2,613,600円	
5															
6															
7	21	623,700	43	1,277,100	24	712,800			88	2,613,600	2,583,900	98.9	0		29,700
8													29,700		0
計	21	623,700	43	1,277,100	24	712,800			88	2,613,600	2,583,900	98.9	29,700		0
7													A. 期首収納権利発額=5,029,200円 (101人×9,900円×5月) (1人×9,900円×3月) B. 収納権利増減(▲)額=▲9,900円 11月13日：1年：転学▲1 ・1人×9,900円×1月=▲9,900円 C. 収納必要額A(±)B=5,019,300円		
8															
9															
10	32	1,584,000	43	2,108,700	27	1,336,500			102	5,029,200	4,831,200	96.1		0	198,000
11	1	▲9,900							1	▲9,900				198,000	0
計	33	1,574,100	43	2,108,700	27	1,336,500			103	5,019,300	4,831,200	96.1		198,000	0
12													A. 期首収納権利発額=3,960,000円 (100人×9,900円×4月) B. 収納権利増減(▲)額=▲19,800円 2月3日：2年：転学▲1 1人×9,900円×2月=▲19,800円 C. 収納必要額A(±)B=3,940,200円		
1	31	1,227,600	42	1,663,200	27	1,069,200			100	3,960,000	3,841,200	97.0		0	118,800
2			1	▲19,800					1	▲19,800				118,800	0
3															
計	31	1,227,600	43	1,643,400	27	1,069,200			101	3,940,200	3,841,200	97.0		118,800	0
合計	85	3,425,400	129	5,029,200	78	3,118,500			292	11,573,100	11,256,300	97.3	346,500	0	D. 収納必要額=11,573,100円

□□□□□ □

(全日制・定時制・通信制・単位制の全日制)

授 業 料 収 納 状 況 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

期別 月別	調 定 の 状 況										収 納 の 状 況			異動者等の状況
	1 年		2 年		3 年		4 年		計		納期内収納額 円	納期後 収納額 円	収 入 未 済 額 円	
	人員 人	調定額 円	人員 人	調定額 円	人員 人	調定額 円	人員 人	調定額 円	人員 人	調定額 円				
一 期	4													A. 期首収納権利発額=0円 B. 収納権利増減(▲)額=0円 C. 収納必要額A(±)B=0円
	5													
	6													
	7													
	8													
	計													
二 期	7													
	8													
	9													
	10													
	11													
	計													
三 期	12													
	1													
	2													
	3													
	計													
合計														D. 収納必要額=0円

□□□□□□

県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年度 (令和7年8月31日現在)
	件 数	件 数
高等学校入学検定料	221 件	0 件

□□□□□□

預 金 調

(令和7年8月31日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残 高 (円)	摘 要
静岡銀行 新通支店	無利息型 普通預金	0379157	静岡県立静岡商業高等学校 資金前渡者 校長 松浦 真一郎	0	給与
静岡銀行 新通支店	無利息型 普通預金	0388627	(自振口) 静岡県立静岡商業高等学校 資金前渡者 校長 松浦 真一郎	0	ガス、水道、電話 社会保険料、後納郵便 料
残 高 合 計				0	

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					5年度	6年度	左のうち、令和5年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	3,850,000	/
		教育費	高等学校費	高等学校管理費		423,456	
		教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		303,600	
		計				3,859,328	
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	8,349,000	/
		計			4,802,050	8,349,000	0
(16) 公有財産購入費					/	/	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	学校教育費	高校教育費	/	9,350,000	/
		計			646,800	9,350,000	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	69,711,470	/
		計			68,592,150	69,711,470	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/	/	/
計					0	0	0

□□□□□□

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年8月31日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、令和6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	/
		教育費	高等学校費	高等学校管理費	76,725	
		教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	76,725	
		計			153,450	
(14) 工事請負費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	/
		計			0	0
(16) 公有財産購入費					/	/
計					0	0
(17) 備品購入費	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
			学校教育費	高校教育費	0	0
計				0	0	
(18) 負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	高等学校費	高等学校管理費	17,017,915	/
		計			17,017,915	0
(21) 補償、補填及び賠償金					/	/
計					0	0

余 白

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変 更 増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	エレベーター保守点検 業務	ジャパンエレベーターサービス神奈川(株)	759,000	607,200	0	607,200
2	静岡市葵区・駿河区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(合)石橋剛設計事務所	5,599,000	3,850,000	0	3,850,000
3	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)静岡資源	98,956	98,956	0	98,956
4	産業廃棄物収集・運搬及び処分業務	(株)静岡資源	20,900	20,900	0	20,900
	事務関係計	4 件				
	合 計	4 件				
参考 1	自家用電気工作物保安管理業務	静岡ビル保善(株)	/	2,626,800	▲ 52,800	2,574,000
参考 2	消防用設備等保守点検業務	(株)コーセイ産業	/	7,117,792	▲ 1,478	7,116,314
参考 3	建築物環境衛生管理業務	静岡ビル保善(株)	/	11,110,000	0	11,110,000
参考 4	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業	/	運搬料 1回あたり 15,950円 処分料 1kgあたり 11.0円	0	運搬料 1回あたり 15,950円 処分料 1kgあたり 11.0円
参考 5	警備業務	エスピートム(株)	/	12,999,360	0	12,999,360
参考 6	プール浄化装置保守点検業務	大学産業(株)	/	739,200	▲ 61,600	677,600
参考 7	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡	/	2,409,000	0	2,409,000
	計	7 件				

関 する 調

(令和6年度)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	R6. 4. 1 } R7. 3. 31	R6. 6. 14	46,750	エレベーター設備の保守点検 静岡商業高校(750kg 1基) 中央特別支援学校(750kg 1基) 定期点検 1回/月 定期検査 1回/年 24時間遠隔監視業務 1式	随契1号(少額) 部分払 対象校 中央特支
		R6. 7. 10	46,750		
		R6. 8. 9	46,750		
		R6. 9. 10	46,750		
		R6. 10. 10	46,750		
		R6. 11. 11	46,750		
		R6. 12. 9	46,750		
		R7. 1. 7	46,750		
		R7. 2. 10	46,750		
		R7. 3. 10	92,950		
R7. 4. 8	46,750				
R7. 4. 30	46,750				
	小計	607,200			
一般	R6. 8. 13 } R7. 1. 31	R7. 2. 17	3,850,000	建築基準法第12条に基づく定期点検 建築点検 5校 設備点検 13校	対象校 静岡高、静岡城北高 静岡東高、静岡西高 静岡農業高、静岡中央高 静岡視覚特支、静岡聴覚特支 静岡北特支、中央特支 静岡南部特支、駿河総合高
随契	R6. 11. 1 } R7. 3. 21	R6. 12. 9	98,956	産業廃棄物(蛍光管)収集・運搬及び処分業務	随契1号(少額)
随契	R7. 2. 3 } R7. 3. 28	R7. 3. 19	20,900	産業廃棄物(廃プラ、金属くず、混合廃棄物)収集・運搬及び処分業務	随契1号(少額)
			4,577,056		
			4,577,056		
	R6. 4. 1 } R7. 3. 31			自家用電気工作物の保安 月次点検 11回/年 年次点検 1回/年	契約担当校 静岡西高校
	R6. 4. 1 } R7. 3. 31			消防設備の機能保持のための定期点検 機器点検、機器・総合点検 各1回/年 防火設備点検 1回/年	契約担当校 静岡東高校
	R6. 4. 1 } R7. 3. 31			建築物環境衛生管理技術者管理、空気環境測定、害虫駆除作業、給水管理作業、学校保健安全法に基づく環境衛生検査、空調和設備に関する衛生管理、排水設備に関する衛生管理	契約担当校 静岡中央高校
	R6. 4. 5 } R7. 3. 31			可燃物の収集運搬処分135回/年	契約担当校 静岡農業高校 単価契約
	R6. 10. 1 } R11. 9. 30			校舎の機械警備 侵入 11室、火災 全室	契約担当校 駿河総合高校
	R6. 4. 15 } R6. 11. 15			プール浄化装置の保守点検 定期点検 2回/年	契約担当校 静岡西高校
	R6. 5. 22 } R7. 3. 31			ガスヒートポンプの点検及び調整 点検 1回/年	契約担当校 静岡高校

□□□□□

委 託 料 に

整理 番号	委託業務名	受託者	当 初 設計金額	契 約 金 額		
				当初額	変 更 増減額	計
	(事務関係)		円	円	円	円
1	エレベーター保守点検 業務	ジャパンエレベーターサービス神奈川(株)	739,200	660,000	0	660,000
2	静岡市葵区・駿河区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	N.concept建築計画二級建築士事務所	8,184,000	3,520,000	0	3,520,000
	事務関係計	2 件				
	合 計	2 件				
参考 1	自家用電気工作物保安管理業務	静岡ビル保善(株)		2,714,360		2,714,360
参考 2	消防用設備等保守点検業務	(有)コーセイ産業		8,067,345	290,331	8,357,676
参考 3	建築物環境衛生管理業務	静岡ビル保善(株)		11,440,000	0	11,440,000
参考 4	可燃物収集運搬処分業務	(株)静岡清掃企業		運搬料 1回あたり 18,000円 処分料 1kgあたり 15.0円	0	運搬料 1回あたり 18,000円 処分料 1kgあたり 15.0円
参考 5	警備業務	エスピトーム(株)		12,999,360	0	12,999,360
参考 6	プール浄化装置保守点検業務	三笠産業(有)		774,400		774,400
参考 7	ガスヒートポンプ点検業務	(株)ユアーズ静岡		2,791,800	0	2,791,800
	計	7 件				

関 する 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
随契	R7. 4. 1 } R8. 3. 31	R7. 6. 6	51,150	エレベーター設備の保守点検 静岡商業高校(750kg 1基) 中央特別支援学校(750kg 1基) 定期点検 1回/月 定期検査 1回/年 24時間遠隔監視業務 1式	随契1号(少額) 部分払 対象校 中央特支
		R7. 7. 8	51,150		
		R7. 8. 7	51,150		
		小計	153,450		
一般	R7. 8. 12 } R8. 1. 30			建築基準法第12条に基づく定期点検 建築点検 6校 設備点検 13校	対象校 静岡高、静岡城北高 静岡東高、静岡西高 静岡農業高、静岡中央高 静岡視覚特支、静岡聴覚特支 静岡北特支、中央特支 静岡南部特支、駿河総合高
			153,450		
			153,450		
/	R7. 4. 1 } R8. 3. 31	/	/	自家用電気工作物の保安 月次点検 11回/年 年次点検 1回/年	契約担当校 静岡西高校
/	R7. 4. 1 } R8. 3. 31	/	/	消防設備の機能保持のための定期点検 機器点検、機器・総合点検 各1回/年 防火設備点検 1回/年	契約担当校 静岡東高校
/	R7. 4. 1 } R8. 3. 31	/	/	建築物環境衛生管理技術者管理、空気環境測定、害虫駆除作業、給水管理作業、学校保健安全法に基づく環境衛生検査、空気調和設備に関する衛生管理、排水設備に関する衛生管理	契約担当校 静岡中央高校
/	R7. 4. 7 } R8. 3. 31	/	/	可燃物の収集運搬処分135回/年	契約担当校 静岡農業高校 単価契約
/	R6. 10. 1 } R11. 9. 30	/	/	校舎の機械警備 侵入 11室、火災 全室	契約担当校 駿河総合高校
/	R7. 4. 14 } R7. 11. 28	/	/	プール浄化装置の保守点検 定期点検 2回/年	契約担当校 静岡西高校
/	R7. 5. 26 } R8. 3. 31	/	/	ガスヒートポンプの点検及び調整 点検 1回/年	契約担当校 静岡高校

□□□□□

負担金支出調

(令和6年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会開催通知	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会	円 5,500	6.4.22
2	甲種防火管理者新規講習受講料	日本防火・防災協会	防火管理者講習受講案内	甲種防火管理者新規講習	8,000	6.4.23
3	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	全国高等学校長協会総会・研究協議会開催通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	6.4.26
4	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会開催通知	東海四県高等学校長生徒指導連絡協議会	2,000	6.7.4
5	全国商業高等学校長協会会費	全国商業高等学校長協会	全国商業高等学校長協会規約	商業教育の振興	336,970	6.7.11
6	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 596名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	17,701,200	6.7.31
7	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会開催通知	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会	5,500	6.8.30
8	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 579名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	28,660,500	6.10.31
9	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 高等学校等就学支援金転学者2名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	39,600	6.10.31
10	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第2期分 高等学校等就学支援金退学者1名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	39,600	6.10.31
11	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 579名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	22,928,400	7.1.31
12	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第3期分 高等学校等就学支援金退学者1名分戻入)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	-19,800	7.2.7
計		12件			69,711,470	

□□□□□

負 担 金 支 出 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

整理 番号	負 担 金 名	交 付 先	負 担 根 拠	事 業 内 容	負担金額	支出年月日
1	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会開催通知	全国商業高等学校長協会春季総会・研究協議会	円 5,500	7.4.18
2	全国高等学校長協会総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	全国高等学校長協会総会・研究協議会開催通知	全国高等学校長協会総会・研究協議会	4,000	7.4.25
3	全国商業高等学校長協会会費	全国商業高等学校長協会	全国商業高等学校長協会規約	商業教育の振興	339,215	7.6.25
4	東海四県高等学校長連絡協議会参加費	東海四県高等学校長連絡協議会	東海四県高等学校長連絡協議会開催通知	東海四県高等学校長連絡協議会	2,000	7.6.27
5	高等学校等就学支援金	全日制高等学校授業料(第1期分 561名分)	高等学校等就学支援金の支給に関する法律	高等学校に在籍する生徒の授業料に充てる	16,661,700	7.7.31
6	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会参加費	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会開催通知	全国商業高等学校長協会秋季総会・研究協議会	5,500	7.8.28
計		6 件	/	/	17,017,915	/

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約締 結方法
					当初額	変 更 増減額	計	
1	教育管理費	静岡商業高等学校 防災監視盤更新工事	静岡市葵区田町地 内	円 8,690,000	円 8,349,000	円	円 8,349,000	指名
		合 計	1 件	8,690,000	8,349,000	0	8,349,000	

□□□□□

建 築 工

整理 番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約締 結方法
					当初額	変 更 増減額	計	
1	教育管理費	静岡商業高等学校 北側テニスコート 修繕工事	静岡市葵区田町地 内	円 9,416,000	円 9,130,000	円	円 9,130,000	指名
		合 計	1 件	9,416,000	9,130,000	0	9,130,000	

事 調

(令和6年度)

受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
旭産業㈱	R6. 7. 23 R7. 1. 21	円 8,349,000	<ul style="list-style-type: none"> ・事務室内の防災監視盤1台更新 (GR型受信機510/254AD壁掛型) ・ユニット通信用SPD(伝送線用)2個設置 ・ユニット通信用SPD(制御線用)1個設置 ・交流100/200V系単相2線用クラスII SPD 1個設置 	-	令達経理 令達6. 6. 20 最終支払7. 2. 25
		8,349,000			

事 調

(令和7年度)
(令和7年8月31日現在)

受注者	着手 完成(予定) 年 月 日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
長谷川体育施設㈱	R7. 8. 12 R7. 9. 30	円 0	<ul style="list-style-type: none"> ・不陸修正工 1,281.6㎡ ・表層工 1,281.6㎡ ・表面処理工 1,281.6㎡ ・テニスコートラインテープ張り 2面 ・テニスコートポスト撤去新設 2対 ・フェンス復旧 1式 		令達経理 令達7. 7. 16
		0			

□□□□□

公 有 財 産 調

(令和6年度)

区分	令和6年3月31日 現在		増		減		令和7年3月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円 4,771,765		千円 1,202		千円 65,404		千円 4,707,563		
土地	39,085.19 m ²	3,902,265	m ²		m ²		39,085.19 m ²	3,902,265	
立木竹	221 本	8,569	本		1 本	56	220 本	8,513	
建物	$\frac{7,767.55}{17,483.83}$ m ²	793,210	m ²		m ²	58,478	$\frac{7,767.55}{17,483.83}$ m ²	734,732	
工作物	73 個	67,721	2 個	1,202	個	6,870	75 個	62,053	
公有財産に準ずるもの	154		0		0		154		
電話加入権	2 件	154	3 件	18	件		5 件	172	

(令和7年度)

区分	令和7年3月31日 現在		増		減		令和7年8月31日 現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産	千円 4,707,563		千円 0		千円 56		千円 4,707,507		
土地	39,085.19 m ²	3,902,265	m ²		m ²		39,085.19 m ²	3,902,265	
立木竹	220 本	8,513	本		1 本	56	219 本	8,457	
建物	$\frac{7,767.55}{17,483.83}$ m ²	734,732	m ²		m ²		$\frac{7,767.55}{17,483.83}$ m ²	734,732	
工作物	75 個	62,053	個		個		75 個	62,053	
公有財産に準ずるもの	172		0		0		172		
電話加入権	5 件	172	件		件		5 件	172	

□□□□□

借 地 借 家 等 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地 目		数量又 は面積	借 料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用 途
				台帳	現況		単 価	年 額			
1	建物	倉庫建	静岡市葵区 田町7丁目 90番地	鉄骨造		m ² 74.52 74.52	円	円 無 償	R3.4.1 } R8.3.31	静岡県立静岡商業高等学校 PTA会長	相撲場
2	建物	雑屋建	静岡市葵区 田町7丁目 90番地	鉄骨造		783.22 783.22		無 償	R3.4.1 } R8.3.31	静岡県立静岡商業高等学校 PTA会長	弓道場
	計					857.74 857.74		無 償			
3	工作物	冷暖房 装置	静岡市葵区 田町7丁目 90番地			個 1	円	円 237,046	R3.7.1 } R16.6.30	三井住友ファイナンス&リース 株式会社	普通教室 空調
4	工作物	冷暖房 装置	静岡市葵区 田町7丁目 90番地			個 1	円	円 3,781,971	R6.7.1 } R19.6.30	NTT・TCリース株式会社 静岡支店	特別教室 空調

行政財産貸付・使用許可調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は 使用許可 者の氏名	貸付・使用 の目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 6	円 1,500	円 9,000	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	中部電力パワーグリッド㈱ 静岡支社 配電建設グループ長	電力供給用支線、支線 住用敷地
2	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	本館	校舎建	㎡ 0.01	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡市長	同報無線戸別受信機設 置
3	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.90	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	記念碑用敷地
4	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.96	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	カープミラー専用住 用敷地
5	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.82	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	二宮尊徳像用敷地
6	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.05	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	軟式野球投球場 防球ネットポール用敷 地
7	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.60	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	施設配置図看板用敷 地
8	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 0.86	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球部点数ボード 用敷地
9	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 33.16	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡市長	耐震性防火用貯水槽用 敷地
10	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 2.10	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	記念碑用敷地
11	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 2.80	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	記念像用敷地
12	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 17.82	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡市長	防災倉庫用敷地
13	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 31.11	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球部管理棟用敷 地
14	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 1.44	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	球魂の碑用敷地
15	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	南館	校舎建	㎡ 65.70	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	静岡ギャラリー設置
16	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 6.47	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校 女子ソフトテニス部父母会	女子ソフトテニス部 クラブハウス用敷地
17	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 2.13	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	プール夜間照明用敷地
18	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 5.28	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	サッカー部物置用敷地
19	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 15.10	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球用具置場用敷 地
20	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 43.55	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球部応援ベンチ 用敷地
21	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	㎡ 45.22	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球部砂置場用敷 地

整理番号	区分	種別	所在地	地目		敷地面積 ㎡	貸付料 単価	又は 年額	貸付又は 使用許可 期間	貸付可 受ける 氏名	貸付・使 用目的
				台帳	現況						
22	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	4.83	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	硬式野球部物置用敷地
23	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	1.30	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校硬式野球部 OB会長	全国制覇記念碑用敷地
24	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	2.18	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	軟式野球部点数ボード 用敷地
25	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	1.65	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	噴水用敷地
26	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	2.79	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	いしぶみ碑用敷地
27	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	1.89	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	剛健進取碑用敷地
28	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	6.31	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	中庭テニスコート照明 設備用敷地
29	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	本館校舎建 RC5階建		32.85	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県商業教育研究会会長	静岡県商業教育研究会 職員執務場所設置
30	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	10.92	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県商業教育研究会会長	静岡県商業教育研究会 職員駐車場用敷地
31	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	本館校舎建 RC5階建		3.30	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	PTA職員執務場所設置
32	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	10.92	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	PTA職員駐車場用敷地
33	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	北館校舎建 RC4階建		3.30	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	図書館職員執務場所設 置
34	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	10.92	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	図書館職員駐車場用敷 地
35	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	南館校舎RC3階建		98.55	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	同窓会職員執務場所等 設置
36	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	10.92	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	同窓会職員駐車場用敷 地
37	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	北館校舎建 RC4階建		3.60	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	昼食販売場所
38	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	1.36	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	弁当空箱回収ゴミ箱設 置
39	建物	事務所建	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	本館校舎建 RC5階建		3.30	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	PTA職員（進路室）執務 場所設置
40	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	10.92	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校PTA会長	PTA職員（進路室）駐車 場用敷地
41	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	8.48	—	免除	R7. 4. 1 } R12. 3. 31	静岡県立静岡商業高等学校同窓会長	ソフトテニス部倉庫用 敷地
42	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	3.00	—	268,182	R7. 4. 1 } R10. 3. 31	サントリービバレッジソリューション ㈱	飲料用自動販売機2台及 び容器回収ボックス設 置
43	土地	学校敷地	静岡市葵区 田町七丁目 90番地	学校敷地	学校敷地	6.00	—	830,000	R7. 4. 1 } R10. 3. 31	サントリービバレッジソリューション ㈱	飲料用自動販売機4台及 び容器回収ボックス設 置
合計									1,107,182		

□□□□□□□

主要備品調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 高性能パソコン実習装置 先生・生徒機、プリンタ他	授業・実習用 毎日(年間250日)	令和4年3月	19,800,000 円
2	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 情報応用実習装置 先生・生徒機、プリンタ他	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成28年2月	10,033,200
3	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) 情報基礎実習装置 サーバー、先生・生徒機、プリンタ他	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成28年2月	9,936,000
4	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) DXハイスクール実習装置 先生・生徒機他	授業・実習用 毎日(年間100日)	令和7年3月	9,350,000
5	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ワープロ室 サーバー、先生・生徒機、プリンタ他	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成20年3月	8,172,822
6	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) プロジェクター、カート、ipad、Apple TV、キャビネット、Macbook	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成30年3月	5,400,000
7	02-01	パーソナルコンピュータ(一式)	パーソナルコンピュータ(一式) ICT環境整備機器一式	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成31年3月	4,882,324
8	01-14	エアコンディショナー	エアコンディショナー ヤマハ5馬力YCSJ140-A 天吊型 2台	授業・実習用 6~9、2月(年間120日)	平成8年3月	3,347,500
9	03-03	プロジェクター	プロジェクター 天吊プロジェクター一式(21~37HR)	授業用 毎日(年間250日)	平成31年3月	2,308,824
10	10-06	教育調理器具	教育調理器具 三つ口ガスコンロ・コンビネーションレンジ各11台他	授業・部活用 年間50日	平成28年3月	2,064,441
11	01-04	移動書庫	電動式移動書架 電動式 W4125 D1015 H2389	図書室蔵書整理用 毎日(年間365日)	平成11年12月	1,701,000
12	02-01	電算組織用媒体	パソコンソフト 情報応用実習装置 教師機、生徒機他	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成20年3月	1,654,244
13	02-01	電算組織用媒体	パソコンソフト 情報基礎実習装置 教師機、生徒機他	授業・実習用 毎日(年間250日)	平成20年3月	1,639,575
14	02-02	放送装置	非常用放送設備(一式) パナソニック	業務用 毎日(年間250日)	平成28年10月	1,598,400
15	01-04	移動書庫	移動書庫 横移動式移動書架 木製	図書室蔵書整理用 毎日(年間365日)	平成11年12月	1,564,500
16	03-03	映写機用器具	映写機用器具 電動スクリーン 240型 16:10	特別活動用 年間15日	令和元年9月	1,447,200
17	02-03	音響再生機器	音響再生機器 音響再生装置音楽室	授業用 週3回(年間120日)	平成12年2月	1,407,000
18	01-03	長椅子	長椅子 生徒用ベンチ 4台1セット	生徒利用 毎日(年間250日)	平成11年12月	1,134,000
19	02-01	ノートパソコン(一式)	ノートパソコン(一式) 教務用パソコン(9台)他	教務用 毎日(年間250日)	平成28年3月	1,129,248
20	03-03	その他の視覚用再生用機器	その他の視覚用再生用機器 ミキシングコンソール	授業・実習用 年間20日	平成6年10月	1,094,000

職 員 調

(令和7年8月31日現在)

整理 番号	職 名	氏 名	事 務 分 担	住 所	勤 務 年 数	摘 要
1	校長	松浦 真一郎		□□□	□□□□	□□□
2	副校長	杉山 聡		□□□	□□□□	□□□ □□□□□□□□ □□□□□□ □□□□
3	教頭	中村 洋一	商業	□□□	□□□□	□□□
4	事務長	田辺 章		□□□	□□□□	□□□ □□□□□□ □□□□
5	教諭	山本 浩	音楽	□□□	□□□□	□□□ □□□□□□
6	教諭	植野 嘉苗	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□ □□□
7	教諭	戸塚 一仁	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□ □□□
8	教諭	島崎 光廣	数学	□□□	□□□□	□□□ □□□
9	教諭	柴田 睦	地歴公民	□□□	□□□□	□□□ □□□
10	教諭	寺尾 祐一	国語	□□□	□□□□	□□□ □□□□ □□□
11	教諭	飯尾 誠	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□ □□□
12	教諭	青木 良介	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□ □□□
13	教諭	杉田万里子	国語	□□□	□□□□	□□□ □□□□
14	教諭	立石 和宏	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
15	教諭	上田 辰一	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
16	教諭	石間 義久	商業(商業科)	□□□□	□□□□	□□□
17	教諭	外山 英美	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
18	教諭	漆畑 祐佳	外国語	□□□	□□□□	□□□
19	教諭	清水 美保子	外国語	□□□	□□□□	□□□
20	教諭	杉山 岳	外国語	□□□	□□□□	□□□
21	教諭	長田 育子	地歴公民	□□□	□□□□	□□□
22	教諭	志田 賀子	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
23	教諭	尾崎 光	保健体育	□□□	□□□□	□□□
24	教諭	福元 英美	外国語	□□□	□□□□	□□□
25	教諭	原田 貴弘	保健体育	□□□	□□□□	□□□
26	教諭	知念 知実	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
27	教諭	大澤 利恵	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
28	教諭	森田 晋	国語	□□□	□□□□	□□□
29	教諭	滝浪 貴史	国語	□□□	□□□□	□□□
30	教諭	田上 美智子	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
31	教諭	増田 哲也	保健体育	□□□	□□□□	□□□
32	教諭	木下 仁美	美術	□□□	□□□□	□□□
33	教諭	望月 嗣久	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
34	教諭	西村 早織	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
35	教諭	作川 なおみ	商業(情報処理科)	□□□	□□□□	□□□
36	教諭	曲田 雄三	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
37	教諭	望月 奈穂	保健体育	□□□	□□□□	□□□
38	教諭	牧野 雄貴	商業(商業科)	□□□	□□□□	□□□
39	教諭	杉村 正道	理科	□□□	□□□□	□□□
40	教諭	嶋田 龍彦	理科	□□□	□□□□	□□□
41	教諭	勝山 郁美	家庭科	□□□	□□□□	□□□
42	教諭	山本 優美	保健体育	□□□	□□□□	□□□ □□□□□ □□□□□□□□□□□□□□□□□□□
43	教諭	鈴木 真未	家庭	□□□	□□□□	□□□

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
44	教諭	松本 和也	数学	□□□	□□□□	□□□
45	教諭	鈴木 菜月	地歴公民	□□□	□□□□	□□□
46	教諭	夏賀 海帆	数学	□□□	□□□□	□□□
47	教諭	成島 未彩	外国語	□□□	□□□□	□□□
48	養護教諭	杉山 祐美	養護	□□□	□□□□	□□□
49	主任実習助手	築地 喜代美	商業	□□□	□□□□	
50	主任実習助手	小長谷 信子	商業	□□□	□□□□	
51	主任	田中 勉	管財	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□ □□□
52	主任	小林 裕幸	庶務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□
53	主任	松尾 杏菜	庶務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□
54	主任	大塚 香織	庶務	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□ □□□□
平均年数					□□□□	

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	外国語指導講師	Adrian Partida	外国語	□□□	□□□□	
2	会計年度任用職員	黒澤 亜純	書道	□□□	□□□□	□□□ □□□□□□□□□□□□□□
3	会計年度任用職員	鈴木 和富	用務	□□□	□□□□	
4	会計年度任用職員	山梨 剛史	用務	□□□	□□□□	
5	会計年度任用職員	金田 朋子	事務員	□□□	□□□□	
6	会計年度任用職員	大野 晃裕		□□□	□□□□	□□□
7	会計年度任用職員	田中 勝己		□□□	□□□□	□□□
8	会計年度任用職員	大石 幸男		□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□□□
9	会計年度任用職員	石川 誠	通級指導	□□□	□□□□	□□□ □□□□□
10	学校医・健康管理医	横山 正一	内科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□
11	学校医	八木 大英	内科	□□□	□□□□	□□□□□□□□□□□□□□□□
12	学校医	加藤 博美	眼科	□□□	□□□□	□□□□
13	学校医	川崎 泰士	耳鼻科	□□□	□□□□	□□□□
14	学校歯科医	塩谷 和敬	歯科	□□□	□□□□	□□□□□□
15	学校歯科医	塩谷 典子	歯科	□□□	□□□□	□□□□□□
16	学校薬剤師	菅瀬 久智	薬剤師	□□□	□□□□	□□□□□

□□□□□-□

職員の年齢調

(令和7年8月31日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20 歳未満	□ 人	
20 歳以上 30 歳未満	□	
30 歳以上 40 歳未満	□	
40 歳以上 50 歳未満	□□	
50 歳以上 56 歳未満	□	
56 歳以上 61 歳未満	□□	
61 歳以上	□□	再任用職員□人、再任用短時間勤務職員□人
計	□□	平均年齢□□.□歳

健 康 管 理

1 令和6年度受診状況

区 分	内 容
受診状況	受診者数 □□ 人
	職員数 □□ 人
受診率	□□□. □ %
県平均受診率	□□□. □ %

(1) 未受診の理由

2 令和7年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		□ 人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	□ 人
B 2		要 経 過 観 察	□ 人
C 1	勤務をほぼ平常に行っているが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	□ 人
C 2		要 経 過 観 察	□ 人
D 1	平常の勤務でよい。	要 治 療 (□□) 人	ア 産 休 ・ 育 休 人
D 2		要 経 過 観 察 (□□) 人	イ 新 規 採 用 人
D 3		医 療 不 要 (□□) 人	ウ 自 己 都 合 による 未 受 診 人
区 分 者 計			(□□) 人
未 区 分 者 計			(□) 人
合 計			(□□) 人

(1)管理区分A～C 2該当者
に対する措置状況

(2)未区分の理由

エ (の 他) 人